

公表日 令和4年3月10日

社会福祉法人みつば会  
児童発達支援事業所すずらん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	改善内容や改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・各活動エリアの人数を調整している。	・施設の改修に伴い指導教室等を拡充した。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・作業療法士等の専門職員の確保に努めている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		・施設改修に伴い改善した。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・月1回の職員会議を実施し、業務改善等に努めている。	・職員の意見を聴取し業務改善に生かす。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者による事業所評価を実施し、課題を職員で共有し、業務改善に反映させる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・評価表の事業所内掲示及び会報により公表している。	・現在、ホームページが更新作業のため休止状況であるので今後ホームページにも掲載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・今年度、外部評価が実施できていない。	・今後の課題として検討する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・所内研修を計画的に実施 ・視察研修等を計画的に実施 ・県発達支援センターと連携し指導・助言を受けている。	・県発達支援センターと連携強化を図る。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・子どもと保護者のニーズや課題と事業所でのアセスメントをすり合わせ支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・今後、さらに県発達支援センターの助言を頂く。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員で確認し合い内容を検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・1週間毎にプログラムを変更している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		・サービス提供時間に応じ支援内容を工夫している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・アセスメントを行い一人一人に合った個別と集団活動を組み合わせ作成するようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・職員間で打ち合わせを実施し、支援内容や役割分担を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・その日の支援を振り返り、気付き等の情報交換等は可能な範囲で実施している。	・気になる点に関しては、支援の振り返りや方向性を検討し共通認識のもと支援にあたる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録を点検・確認するとともに記録を職員間で共有している。	・個別支援計画に沿った支援内容の記録を確実に記載する。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半年に1回のモニタリングを確実に実施し、それ以外でも状況が変われば必要に応じて見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		・ガイドラインを基に複数組み合わせ実施している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・毎月、行事予定表及び下校時刻予定表を頂き、連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		・現在は、対象児童の在籍は無い。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	改善内容や改善目標	
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・定期的に保育所等と連携し、支援内容等の情報共有を図っている。	・保育所等との連携をより一層推進する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、迅速に対応できる体制を構築していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・広島県発達支援センターと定期的に連携し、指導・助言を受けている。	・広島県発達支援センターとの連携をより一層推進する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・放課後児童クラブとの併用をしている児童が多いため未実施。	・次年度、地域の交流会等への参加を検討中である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		・管理者または児童発達支援管理責任者等が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・面談や利用時の「連絡ノート」で伝えている。	・保護者と面談できる場を増やしていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・継続して保護者支援の充実を図る。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明している。	・保護者会等の場を活用し、周知徹底を図る。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・子育ての悩みはもちろん、保護者自身の悩み等の相談を受け保護者をサポートするようにしている。	・保護者からの相談だけでなく、支援者側からの積極的なアプローチを心がけていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・本年度、保護者会や親子広場等を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できないケースもあった。	・次年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら保護者会や「親子教室」等を計画的に実施し、保護者同士の連携を支援する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明し、事案が生じた場合は迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・今後、法人ホームページを活用し、積極的に情報発信に努める。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・今年度も法人の「みつば祭り」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。	・次年度に向けて地域住民等とのふれあいの機会を検討中である。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・新たにマニュアルを作成した。 ・定期的に避難訓練を実施している。	・保護者へ会報等を活用し周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難訓練(火災・地震・不審者対応)を計画的に実施している。	・保護者へ会報等を活用し周知する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・所内での研修を実施している。 ・人権擁護、虐待防止について研修に参加している。	(次年度に向けて) ・職員の虐待防止研修の実施。 ・虐待防止委員会の設置 ・虐待防止等のための責任者の設置
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明している。	(次年度に向けて) ・身体拘束等の適正化のための対策検討委員会の設置及び定例実施。 ・身体拘束等の適正化のための指針整備。 ・身体拘束等の適正化のための職員研修の実施。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医療機関と連携し、指示書を頂いている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	・ヒヤリハット事例集が作成されていない。	・早急に事例集を作成し、職員間で共有を図る。

放課後等デイサービス

令和3年度 保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

社会福祉法人みつば会

保護者数 32名 回収数 29 回収率 90.6%

児童発達支援事業所すずらん

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応等
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	2	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	3	0	まだ、よくわからない。	・保護者会等で丁寧に説明していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	25	4	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	28	1	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	4	0	・1週間ごとにプログラムが考えられている。	・児童が興味・関心を持って取り組める活動を工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	14	2	・交流会をして欲しいという要望はないので不満等はありません。 ・良くわからない。	・学校等で日常的にこのような機会を得ている児童がほとんどであるので、あえてこうした機会を設けていないことを保護者に周知していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	2	0		・契約時だけでなく、保護者会等で丁寧に説明していきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	3	0		・日常的な相談や声掛けを充実させていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	2	0		・保護者からの相談だけでなく、支援者側からの積極的なアプローチを心がけていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27	2	0	・参加できていません。	・次年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら計画的に実施していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	4	0		・苦情等に迅速かつ適切に対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	2	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26	3	0		・法人ホームページや通信を活用し、子どもたちの活動の様子やお知らせ等を積極的に発信していきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	29	0	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	5	2	・避難訓練は実施されると理解していますがマニュアル等の内容は分かりません。	・保護者会や会報等を活用して保護者に周知していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	6	0	・避難訓練をしたと聞いています。	・保護者会や会報等を活用して保護者に周知していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	28	1	0		・利用児童が安心して楽しく過ごせるよう、より一層、支援の質の向上に努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	28	1	0		・利用児童及び保護者の方に満足していただけるよう、より一層、療育の質の向上、及び保護者支援の充実に努めます。